

ルーム・トゥ・リード アニュアルレポート2016

教育のために 行動を起こす



Room to Read®

よりよい未来の実現に教育を通じて協力する

地理的な距離や言葉、文化によって世界のあちこちに分かれていても、次の世代のためによりよい未来を願う気持ちは共通です。

人里離れた山あい、湿地の広がるデルタ地帯、あるいは大都会、どこに住んでいようと、親は皆、子どもの成功を願っています。共に行動を起こして教育に投資することで、すべての子どもがどこに住んでいようと必要な機会を手に入れることができるようになります。

世界的な非識字や教育における男女の不平等を解消するには大がかりな取り組みが必要ですが、私達が支援する子ども達は皆、ひとりひとり大切な存在です。読み書きを学ぶ生徒や中等教育を終える少女は、その後の人生で新たな可能性を手にして周囲の人々の扉を開くことができます。皆様の投資が世界各地に届き、子ども達は本を手にし、そばに思いやりあるメンターを得て、その後にあたると人生を大きく変えていくのです。

ルーム・トゥ・リード®のグローバルネットワークに集結した力、つまり、数千人に上る投資家やボランティア、スタッフが世界中の子ども達の教育改善に費やす時間とエネルギー、資金を利用すると、圧倒的な成果が得られます。行動して変化を起こすという共通の決意の下、ルーム・トゥ・リードは良質な教育プログラムを通じてこれまでに1160万人以上の子ども達を支援してきました。

私は、今日まで支援してきた将来の起業家、教師、医師、そして親となる何百万人もの子ども達をとて誇りに思っています。しかし世界的な教育の危機はいまなお存在しています。低所得国の若者の4人に1人は文章をまったく読むことができません。また、世界には学校に通っていない子ども達が2億6300万人もいます。こうした現実にも関わらず、現在の世界的な教育支援は2010年よりも8%低くなっています。ユネスコの推定では、2030年までにすべての人に良質な教育を提供するには、教育支援を現在の7倍に増やす必要があります。さらに数百万人もの子ども達が貧困

から抜け出せなくなる前に、重要な役割を担う教育支援の縮小傾向に歯止めをかけ、世界各地の教育により一層の投資を行わなければなりません。

皆様のご支援を得て、ルーム・トゥ・リードはプログラムを拡大し、こうしたニーズに応えています。皆様にご協力いただいて成し遂げた成果、すなわち、支援したひとりひとりの子ども達、出版した本の1冊1冊、そして研修に参加した教育者ひとりひとりから得た学びを基に、ルーム・トゥ・リードでは識字教育や女子教育の格差を是正する効果的かつ順応性のあるソリューションを生み出してきました。現在私達は、プログラムや事業運営の改善、また、各国政府および他の非営利組織との能力開発事業の拡大を通して、支援をより広く効率的に提供することに注力しています。皆様の投資は、支援を受けた子ども達、そして皆様のお力添えによって築かれたルーム・トゥ・リードの評価として実を結んでいます。効果的なプログラムで積み上げた実績を背景に、ルーム・トゥ・リードは皆様の支援を地区から州へ、そして国全体へと拡大して、より迅速により多くの子ども達に教育を提供しています。

私達は皆、世界の教育を改善する役割を担っています。南アフリカに本を送るために読書マラソンを開催しているスイスの学級、困難に立ち向かう少女のために何時間もかけて家庭訪問をするインドのソーシャルモビライザー、弟が読む本を図書室で借りるラオスの小学5年生。私達は皆、それぞれができることを行動に移しています。力を合わせればすべての人にとってよりよい未来を創ることができます。ルーム・トゥ・リードは、皆様と共にさらに何百万人もの子ども達に手を差し伸べていきます。

エレン・ガンジュ
共同創設者 兼CEO



親愛なる皆様へ

私は世界的組織に勤め優れた投資機会の恩恵を得るというキャリアに恵まれてきましたが、ビジネスにおけるいずれの成功も、子どもの教育への投資で得られるリターンに勝ることはありません。

知識は人々をより安全、健康にし、自立を促します。子ども達の教育こそ、世界のポジティブな変化のために私達が人生で最も重要な投資だと信じています。私がルーム・トゥ・リードの仕事に大きなやりがいを感じるのは、そこには経済の活性化や性格差の縮小、次世代のグローバルリーダーの創出といった変化をもたらす可能性があるからです。

ルーム・トゥ・リードには、非識字をなくし、少女が学校に通い続けるようにするためにするために有効な解決策があります。また、一連の解決策の規模を拡大して影響の及ぶ範囲を広げる力も備えています。この数年間、ルーム・トゥ・リードの取り組みは勢いを増しています。カンボジア、インド、ラオス、ネパール、ルワンダ、タンザニア、ベトナムといった国々の政府に私達のプログラム戦略が採用されたほか、多岐にわたる企業とのパートナーシップや有数の国際援助機関と協力するなど、支援のルートを大きく展開してより多くの子ども達に手を差し伸べています。私達には、2020年までに1500万人の子ども達に支援を提供するという大きな目標があります。この目標は、世界の教育に制度的な変革をもたらすことで確実に達成できるはずです。

社会の一員は社会にお返しをすべきだというのは私が父から授かった教えですが、良質な教育を受ける機会を享受した私達にはより広いグローバルコミュニティにも同様の機会を提供する責任があります。私達には何百万人もの子ども達の人生を大きく変えるだけの力があります。

私を含め自分の子どもの教育を援助できる恵まれた家庭がたくさんありますが、はるかに多くの家庭では子どもに基本的な学習機会を与えるために苦労しています。私は、経済的に苦しいコミュニティの子ども達が、学習教材や効

果的なカリキュラムもなく、訓練を受けた教師もいないという状況に置かれているのを見てきました。そして、ルーム・トゥ・リードがこうした子ども達の人生を変えられることも見てきました。ルーム・トゥ・リードの取り組みは、支援を受けた子ども達が母国語で書かれた本を読めたときに見せる計り知れないほどの喜び、子ども達が将来を思い描き、かなえたい夢について話すときの輝いた表情となって表れます。私が大好きだった英語のゲール・スタインバーグ先生は、本を読んで学ぶことを楽しむようにと言い、私に大きな影響を与えてくれました。毎年研修に参加する数千人もの先生方を通じてルーム・トゥ・リードがもたらすことができるであろうインパクトの大きさを想像すると、感動すら覚えます。

私達は様々な分野や職業で何かを成し遂げてきた個人として、できるだけ速やかに多くの子ども達に支援の手を差し伸ばすという目標を達成するために、ルーム・トゥ・リードのような革新的な解決策への投資を拡大すべきです。今後も教育における広範な改善を支援し推し進めることで、次世代の子ども達が家族の暮らしを向上させ、地域社会の質を高め、さらに国をよくして、より大きな成功を収めることができるようになります。

これまで皆様が教育によって世界を変えるために投じてくださったあらゆる支援にお礼を申し上げます。今後もルーム・トゥ・リードで皆様と共に多くの成果を達成していきたいと思っています。


スコット・キャブニック
理事長



変化のきっかけ

識字教育と女子教育

ルーム・トゥ・リードは、教育のために行動する人々の世界的ネットワークです。

個人や組織の寛大な行為が、私達のスタッフによって質の高い教育資源をもたらすプログラムへと姿を変えて、世界中の生徒や先生へ届けられます。プログラムは単に本や文具を届けることにとどまらず、カリキュラムや支援体制を開発することも含まれています。各国政府がルーム・トゥ・リードのプログラムを利用して私達が直接手を差し伸べられない子ども達を支援することで、教育資源の到達度はさらに高まります。また、現在 1160 万人を超えるこの生徒達自身が教育を広める発信者となったとき、そこにはまさに奇跡的な影響力が結実するのです。



13,500名 16,600名 1,400名

寄付者

ボランティア

スタッフ

が2016年にルーム・トゥ・リードを通じて識字教育と女子教育の促進に貢献しました。

識字教育プログラム

世界の学齢児童の約10人に4人は、読み書きといった基本的な学習スキルを学んでいません。

変化を起こすための行動：ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムはこれまでに1070万人以上の小学生に対して、読み書きの能力を身に付けて読書好きになるための基礎力養成に必要な資源やガイダンスを提供しました。

知識豊かな先生と司書 **+** 質の高い児童書 **+** 子どもが親しみやすい学習環境 **=** 読む力と読書習慣を身につけた子ども達

恩恵を受けた子ども：

83万 1070万名¹
8000名

2016年新規

累計

プログラム参加校：

1,223校 19,884校

2016年新規

累計

出版した図書：

92 1,382
タイトル タイトル

2016年新規

累計

2016年の1校あたりの
平均貸出図書数：

2,199冊

2016年に研修を
受けた教師と司書：

8,703名

1 現在の識字教育プログラムおよび識字能力向上を支援するルーム・トゥ・リードの旧プログラムの両方のサポートを受けた子どもの数の累計。識字教育以外の旧プログラムの支援を受けた子どもの数はこの合計には含まれませんが、ルーム・トゥ・リードのサポートを受けた子どもの合計人数には含まれています。



プログラム イノベーション

はじめに : 「レベル1」ブックプロジェクト

低所得国では、読むことを習い始める1年生向けの現地語の書籍が不足していることがよくあります。「レベル1」ブックと呼ばれるこれらの書籍は、ごく簡単な言葉とテーマ、きれいなイラストを使った物語で構成されており、読み書きを習い始めたばかりの子どもでも楽しむことができます。この書籍不足を解決するため、私達は2016年、様々な地域の子供達に合わせて改編できるような世界的なレベル1ブックの原稿作成パイロットプログラムを開始しました。異なる手法のイラストを使った原稿を合計10種類作成して、**アフリカ、南アジア、東南アジア** の児童に合わせた物語ができるようにしました。原稿の改編版がルーム・トゥ・リードが携わるすべての言語で出版されると、合計150タイトルの児童書が新たに誕生することになります。このプロセスを通して学んだことを活かして、ルーム・トゥ・リードのレベル1ブックの開発プロセスを改善し、世界中の子供達が手にできる本の数をどんどん増やしていきます。

識字学習の再デザイン : 児童書の新テンプレート

識字力育成における最も重要な要素の1つに、低学年用の学校のカリキュラムが挙げられます。学習に適した順序とベースに加え、新しく芽生えたスキルを支える良質な学習教材も必要です。近年ルーム・トゥ・リードでは、1〜2年生の授業で使われる児童書をより魅力的で使いやすく効果的なものにするための再デザインに取り組んでいます。理想的なフォントサイズをはじめ、スタイル、アイコン、イラストの使用、ページレイアウト、境界線についてのガイドライン付きテンプレートを作成し、プログラムを実施する各国の状況に応じて1〜2年生用授業の児童書の内容を改編する際に使用しています。新しい児童書は2016年に学校の授業に導入され、生徒と教師の両方から高い評価を受けました。同デザインは2018年に、残るその他のプログラム実施国に合わせて改編を予定しています。

目標の設定 : 流ちょう性ベンチマーク調査

素早く正確に流ちょうに読む能力は、読解力を身に付けるにあたって不可欠です。ヨーロッパ言語には広く認められている流ちょう性の基準(2年生の終わりまでに1分間に約45〜60語を読んで理解できる)がありますが、非ヨーロッパ言語にはそうした基準がありません。

これに対処するために、ルーム・トゥ・リードは小規模調査を実施している国々において子ども達の流ちょう性の目標を言語別に定めることを目指しています。2016年に私達はこの調査を拡大するための助成金を得て、RTI国際ショナルと提携し流ちょう性を評価するための新しい手法の開発に着手しました。現在、**バングラデシュとカンボジア、ラオス、ネパール**で試験手法をパイロット運用しており、調査結果を踏まえて識字教育プログラムで学ぶ子ども達の習熟度をこれまでよりも効果的に追跡できるようになることを願っています。この調査プロジェクトが成功した暁には、各国政府と手法と結果を共有して、識字教育の促進と子どもの習熟度測定に関する行政の取り組みを支援する予定です。



アリフ

小学生、バングラデシュ

66 息子はいつも勉強しがっています。家ではいろいろな本を熱心に読み、近所の子供達よりとても積極的です。教育と読書の習慣が息子のやる気につながっているのだと思います。99
ーハミダル、アリフの父親

アリフは、バングラデシュの都心、ダッカに住む12歳の小学生です。

アリフはこの地域に住む多くの子ども同様、ルーム・トゥ・リードが学校に来るまで読み書きがあまりできませんでした。学校の司書とルーム・トゥ・リードの識字教育コーチがアリフに芽生えつつあった学習意欲に気付き、図書の時間に特別に手助けをしました。サポートを得たアリフは、アルファベットの発音方法や書く練習による文字の識別といった読解力を高める上で欠かせない方法を学びました。こうしてアリフは1分間に読める単語の数が増え、いろいろな物語が理解できるようになり、言葉に親しむ新たな方法を得たのです。アリフにとって本は物語というだけでなく、新たな可能性への扉でもありました。毎日やらなければならないことの後に本を読むことが楽しみになったのです。

「毎週木曜日にルーム・トゥ・リードの図書室から本を借りて週末に読みます。お茶を売るお父さんの屋台で働いている間も、僕の心は家にいて図書室で借りた本を読んでいます。本を読むようになっていろいろなことを思い描くようになりました。今は将来の夢だってあります」とアリフは話しています。

困難を克服したアリフは、中等教育を終えて大学に進学しエンジニアになるという夢を抱いています。



行政とのパートナーシップ

専門知識の共有 :モデル図書室とレプリカ図書室

ルーム・トゥ・リードは2001年に活動を開始したベトナムでは、現地政府と長期にわたる緊密なパートナーシップを築いています。同パートナーシップを受けて2015年に創設された「フレンドリー小学校図書室プログラム」を通じ、私達は行政と協力して全国各地でルーム・トゥ・リードの図書室モデルを展開しています。同プログラムの第一歩として、2016年にダクラク省とハティン省でモデルとなる図書室を40ヵ所開設し、政府職員に図書室管理について研修を実施しました。2018年までにさらに5つの省でモデル図書室の設置が予定されています。ベトナム政府はルーム・トゥ・リードの図書室に倣い、独自の図書室開設に着手します。また、昨年はヴィロン省とチャーヴィン省の学校図書室評価基準に、ルーム・トゥ・リードの図書室評価システムを取り入れて統合するよう支援をいたしました。



道をひらくために導く :政府の識字教育担当者の研修

ルーム・トゥ・リードは、2010年から南アフリカのリンポポ州で識字教育開発を支援しています。昨年、リンポポ州教育省の招きを受けてルーム・トゥ・リードは同州の識字教育プロジェクトに携わる他の非営利団体と共に、今日までの成

果を発表する機会を得ました。ルーム・トゥ・リードの支援の成果に感銘を受けた同教育省は、数ある非営利団体の中からルーム・トゥ・リードのプログラムを選出し、私達は同州の識字教育担当責任者に対する研修を依頼されました。リンポポ州の識字教育担当者は、低学年を担当する教師に識字教育の指導研修を行っており、こうしたサポートは、資源的な制約のために教師に対して専門能力開発を定期的に行えない学区においては特に重要です。リンポポ州の識字教育担当責任者との協業は2017年後半に開始する予定です。同州の教育制度を広範にわたって支援する機会を得たことを大変うれしく思っています。



2016年、ルーム・トゥ・リードは、南アフリカの小学1年生の読みの流

ちょう性のレベルを2倍に向上させました。リンポポ州の新規70校におけるルーム・トゥ・リードのプログラムの評価によると、プログラムの参加生徒は2016年の終わりまでに、1分間に読める語数が比較対象校の子ども達の約2倍となりました。

ナメックス・ペン

1年生担当教師、カンボジア

〇〇 お話を読むのが大好き! 〇〇

ー リークサ、小学1年生。ナメックスのクラスに入るまで、リークサが読み聞かせをしてもらったことは一度もありませんでした。今では、図書室の本を1週間に3冊借りて家に持ち帰っています。

ナメックス・ペンは、カンボジアのカンポン州で小学1年生を担当する教師です。

毎週水曜日、図書の時間になると、本がたくさん並ぶ明るい部屋にクラスの子ども達を連れていきます。生徒達は、先生が図書室にあるカラフルな本を読み聞かせてくれるのが大好きです。ナメックスの生徒は今では読書が好きになりましたが、以前はそうでもありませんでした。

ナメックスは1年生を受け持って28年になります。何年も子ども達に読み聞かせをしていますが、以前は政府発行の教科書を読んで聞かせ、その内容を子ども達に要約させるというやり方でした。以前は図書室もありませんでした。生徒達は本を読むのはやらされ仕事のように思えてすぐに飽きてしまいました。

ナメックスはルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムを通じて、生徒達を読書に親しませる新しいテクニックを学びました。生徒達が関心を持つような楽しいゲームを取り入れたり、登場人物が生き生きとするように声色を変えろといった方法です。ナメックスはまた、本を読む習慣が子どもに非常に大きな影響を与えることにも気付きました。「ルーム・トゥ・リードで学んだテクニックはとても役に立ちます」とナメックスは語っています。

現在ではナメックスが生徒達に本の音読の希望者を募ると、小さな手が一齐に上がります。ナメックスの生徒達は学校の図書室も大好きです。「子ども達は図書の時間の後には特にたくさん本を借りていきます。数があまりにも多くて、貸出記録に書き切れなくなるのではと思うくらいです」。





女子教育プログラム

高校を卒業するのは、低所得国の最貧困層の女子のわずか1%、低中所得国の最貧困層の女子の17%です。

変化を起こすための行動：ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムは、これまでに4万7000人以上の少女が中等教育にとどまり、十分な説明を受けた上で人生に関わる意思決定を行うスキルを身に付けられるように支援してきました。

ライフスキル
教育



メンター制度



家族と地域
社会の関与



必要に応じた
物質的支援



少女が学校に
通い続け自信と
能力を身につける

恩恵を受けた少女：

32,396名 47,870名

2016年合計

累計

中等教育を修了した少女：

1,010名 3,476名

2016年合計

累計

2015年の卒業生の

70%

以上が、卒業後1年以内に
進学または就職して
います。

2016年にライフスキル研修を
受けた少女：

81%

2016年にプログラムに
とどまった少女の進学率：

95%



プログラム イノベーション

書き留めて注意を促す :グループメンター・エイドに心の声の箱

ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムの要の1つにメンター制度があります。これは、ソーシャルモビライザーが少女達のロールモデルとなり、アドバイスやサポートを提供する活動です。メンターによるサポートはひとりひとりに注意を向けることから始まりましたが、少女が同世代の子ども達と少人数のグループで自らが直面している問題について話し合うグループメンターのセッションも行っています。昨年**バングラデシュ**では、各プログラム参加校にアモデル・コタ（私達のおしゃべり）と呼ばれる心の声の箱を設置して、グループセッションのテーマを選ぶ際に活用しました。少女達は、口に出しづらいことや人前では話しづらいことなども含め、話し合いたいテーマを紙に書いて箱に入れます。心の声の箱は、マンツーマンのメンタリングを必要とする少女を特定する上でも役立ちます。



昨年**バングラデシュ**で、私達のプログラムから110名の卒業生が巣立っていきました。こうした少女達の多くは、家族または地域社会で初めて学校を卒業した子ども達です。

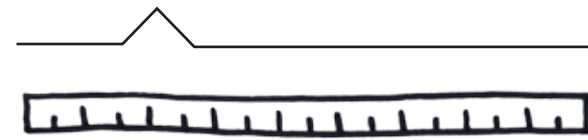
後輩へのパイフワード(無償ボランティア) :卒業生が重要試験に向けて指導

進学や卒業のために合格しなければならない試験は、ルーム・トゥ・リードのプログラムに参加している少女達にとって大きな難問となることがよくあります。プログラムに参加している少女が家族（または地域社会）でそうした試験を受ける初めての子どもとなるケースもあり、試験準備のサポート体制はほぼありません。**スリランカ**では、ルーム・トゥ・リー

ドのプログラムに参加した卒業生達が、無償で試験準備指導クラスを開き、後輩の少女達が自分達のように卒業できるよう支援しています。昨年はヌワラ・エリヤ地区の卒業生から、上級試験を受ける少女のコーチングの申し出がありました。またマタル地区では、卒業生から現地の学校に通う男女生徒へのコーチングの申し出がありました。

点と点をつなぐ:これまでに類のないライフスキル評価

中途退学者が多い地域の少女にとって、意思決定や批判的思考、根気といったライフスキルは、学力と同様に重要です。こうしたライフスキルを得て、少女は人生における重要な意思決定を行い、学校に通い続ける力を得て、充実したキャリアを求め、早婚に「No」と言えるようになるのです。ライフスキルの重要性を認識する一方で、ライフスキルが少女の人生に及ぼす影響は評価が困難でもあります。この問題に対処するため、ルーム・トゥ・リードはライフスキル教育とメンターが少女達の学力に及ぼす影響を探るため、インドでこれまでに類のない調査を立ち上げました。科学研究における代表的な基準を考慮した上でランダム化比較



また、ライフスキル評価を部分的に調整して

より広範なプログラムで使用できるように 新たなライフスキル評価ツールを作成しました。

ルーム・トゥ・リードは昨年様々な測定手法を試験的に導入し、現在世界的に使用するツールを選ぶ最終段階にあります。

試験を用い、**インドのラジャスタン州**の学校に通う2つの異なるグループに属する少女達を比較します。2016年初頭に、私達は合計119校の少女達から基本データを収集し、能力や学力をはじめ学外での生活に関する情報を特定しました。2016年7月に、調査対象の学校の半数でルーム・トゥ・リードのプログラムを開始しました。残る半数の学校は比較対象校です。評価は2018年まで継続して行い、終了後に世界中の関係者に対して、低所得国と中所得国で、ライフスキル教育をどのように設計し、展開していくかという点について、データに基づいた確固たる示唆を提供いたします。



ニルバ

女子教育プログラム卒業生、ソーシャルモビライザー、ネパール

花嫁持参金やカムラリ(強制労働)といった女性の価値を低め、女性を二等市民として扱うような文化的慣習を廃止したいです。

ニルバはネパールのカトマンズでシングルマザーに育てられました。

ニルバの母親は学校へ行ったことがなく、衣料産業で働いて何とか収入を得ていました。とても長時間の労働だったため、ニルバを家に残して仕事に行かなければならないことも度々ありました。ニルバは食事を食べられないことがよくあり、学校へ行くのも必死でした。

学校を卒業することは不可能なように思いましたが、ニルバは母親と同じ苦労は繰り返したくないという強い思いを抱きました。「学校に行かないことで人生がどういうものになるかわかっています。母が読み書きができなかったために払った代償の大きさを目の当たりにしてきました」とニルバは言います。

ルーム・トゥ・リードが学校に来てニルバの人生は変わりました。ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムは、ニルバの教育のための物質的支援に加えて、ニルバが抱えていた苦労や障害を克服できるようにガイダンスを提供しました。こうして一歩踏み込んだサポートを得たニルバは中等教育を修了し、つい最近、大学の経営学部を卒業しました。2016年5月初め、ニルバはルーム・トゥ・リードのソーシャルモビライザーの仕事に就くことを決めました。ニルバはネパールにおける男女の不平等の解消に情熱を傾けており、自分が教育を受けて手にした機会を他の少女達も得られるように手助けできることを喜んでいます。



行政とのパートナーシップ

公的になる: ライフスキルカリキュラムを政府が採用

中等教育課程の少女達を直接サポートするプログラムに加え、ルーム・トゥ・リードでは事業運営先の全域の少女達にも恩恵をもたらすことができるように、地域や国レベルの教育の改善を提唱しています。ルーム・トゥ・リードの地道な提唱は、2016年**カンボジア**で大きな実を結びました。同国政府がルーム・トゥ・リードのライフスキル教育を公立学校の7〜9年生向けカリキュラムに組み込むことを発表したのです。カンボジア教育省は2016〜2017年度に33の中等学校でライフスキル研修の取り組みを開始し、2018〜2019年度までに取り組み先を1500校に増やす予定です。

力を合わせる: 少女の権利向上のための提携

17年にわたる事業運営を通じて、ルーム・トゥ・リードは少女達が学校にとどまり大切なライフスキルを身に付けるための効果的な支援方法について多くの知識を培ってきました。ルーム・トゥ・リードでは日頃からこうした知識を共有する機会を求めています。2016年に**ラオス**教育省「ジェンダー、総合教育、障害に関する専門作業部会」に招かれました。四半期ごとに開かれるこの部会では、女子教育を支援する非営利組織が一堂に会して、ベストプラクティスを共有し、政策の提案を行います。昨年、ルーム・トゥ・リードは妊娠した少女達が学校に通い続けられるようするための提言を行いました。この問題に対する国の政策はすでにありますが、大半の学校で実践されていないというのが実情です。私達は同部会を通して教育省と提携することで、この政策に従う学校を増やすための支援を実施し、また、妊娠した少女達が教育を終えられるようなサポートを提供できることを願っています。



ユスティナ先生

中等学校教員、タンザニア

私のときには望むこともできませんでしたが、今、プログラムに参加している生徒達は大学へ進学して夢を追うための正しい道を歩んでいると自信を持って言えます。

ユスティナは、タンザニアのバガモヨにあるキロモ中等学校の教師です。

彼女は授業で子ども達を教えることに加えて、学校的女子教育プログラムの参加者のためのライフスキル活動の企画を担当しています。子どもの権利やメンター制度といった内容の研修ワークショップにも参加し、中退が懸念される少女達を支援するソーシャルモビライザーと協力して対応にあたっています。

16歳で妊娠した時に学校を中退せざるをなかったユスティナは、自らが直面した問題を少女達が回避できるよう献身的にサポートしています。ユスティナは苦勞を乗り越えて学校を卒業し、教師になりました。少女達に学校をやめないう説得する上で、自ら体験した困難が有効な材料になると考えています。

たとえば、17歳のキダワは、最終試験で落第した際に学校をやめようと思っていました。ユスティナとキダワの担当ソーシャルモビライザーであるジャミラにこのことが伝わったとき、キダワとキダワの先生と両親に面会し、キダワが退学しないようにと説得しました。あらゆる支援に励まされて自信を取り戻したキダワは学校に戻り、もう一度試験に臨む準備を整えました。キダワは今では、学校は何かあっても卒業すると話しています。

ユスティナは、少女達が学校を卒業するための支援に取り組むことを誇りとしており、ルーム・トゥ・リードと共に少女達の権利擁護に努めています。

ルーム・トゥ・リード・ アクセラレータ

ルーム・トゥ・リード・アクセラレータは、団体や政府による質の高い識字教育や女子教育のプログラム実施をサポートし、私達は世界においてより広く貢献していくことができます。

これはルーム・トゥ・リードのコアプログラムを補完する技術協力ユニットで、児童書出版をはじめ、図書室サービス、読み書き指導、女子教育における私達の専門知識を、プログラムの枠を越えてルーム・トゥ・リードの培ってきた専門技術をパートナーと共有することを主眼としています。2016年、ルーム・トゥ・リード・アクセラレータによって、新たな国と地域で、数千人にのぼる生徒が新たに恩恵を受けました。



2016年の成果

児童書の出版

グレナダ、インドネシア

54名

の作家や
イラストレーターが

良質な児童書の製作方法について
研修を受けました

21冊

の児童書が
新たに出版され

10冊のタイトルが現地語に改編されました

10万4,000冊

の児童書が配布されま
した

図書室サービス

グレナダ、インド、インドネシア

1,065カ所

の図書室が
設置されました

1,348名

の教師が図書室管理と
読書活動の研修を受けました

読み書きの指導

グレナダ、インド、ネパール、ルワンダ、
タンザニア

2,672校

の学校が読み書きの指導
の支援を受けました。



こうした成果はこれからも積み上げられます。今後数年間に、ルーム・トゥ・リードのプロジェクトは新たに数百万人の子ども達にサポートを提供します。

タンザニアでは複数の地域で合わせて140万人の生徒をサポートする識字教育教材を開発しています。ネパールとルワンダでは、全国的な新しい初等教育読書プログラム用の指導教材と学習教材を開発しています。



インドネシアで受賞した児童書



「Lautkah Ini (これが海)?」サムスン キッズタイム作者賞のグランプリ受賞作品の画像。

ルーム・トゥ・リード・アクセラレータのパートナー3団体が、2016年のサムスン キッズタイム作者賞のグランプリを受賞したほか、計6つの賞を受賞する栄誉に輝きました。

シンガポールで行われた授賞式は、シンガポール国家書籍開発委員会とサムスン電子との共同イニシアチブの一環としてアジア・フェスティバル・オブ・チルドレン・コンテンツの場で開かれました。

今回受賞した3団体はいずれも、ルーム・トゥ・リードが初めてインドネシアで実施したアクセラレータ・プロジェクトを通じて本の出版ワークショップに参加しました。こうしたワークショップで私達は、これまでに培ってきた良質な児童書の開発手法についてインドネシアの作家やイラストレーター、出版社に研修を実施しました。インドネシアで最初の2年間に製作した15タイトルのうち、6冊が受賞しました。

グランプリ受賞作品「Lautkah Ini (これが海)?」は、2つの雨粒がいろいろな場所を旅する話で、カラフルなパティック(ろうけつ染め)のデザインを施したイラストが用いられています。その他の受賞作品には、「Waktunya Cepuk Terbang (セプクが飛び立つとき)」「Mantel Emas (金のコート)」「Kue Ulang Tahun Widi (ウィディの誕生日ケーキ)」「Ketika Gilang Ingin Seperti Kak Sita (ギランがシタになりたいとき)」と「Datang Lagi Ya! (また来てね)」などがあります。

インドネシア各地の数千人以上の子ども達が、すでにこれらの優れた新しい本を手になっています。ルーム・トゥ・リードは児童書業界が今後も成長していくことを期待しています。

行動を起こす： あなたへのメッセージ

長年にわたって、ルーム・トゥ・リードのサポーターや仲間は、事業への認知度を高め、支援の輪を広げるために、クリエイティブな活動に取り組んできました。この勢いに一層弾みをつけるため、世界中のおひとりおひとり、ご家族、パートナーの皆様にご心身ともにやる気を奮い立たせていただき、困難に直面している多くのコミュニティに識字教育プログラムと女子教育プログラムを届けるための支援をお願いしたいと思います。

行動を起こそう

信じることに行動すると決めると、素晴らしいことが起こります。行動を起こすことはルーム・トゥ・リードのDNAです。ルーム・トゥ・リードのミッションは、ネパールでのトレッキングの長い道のりで出会った校長先生に案内された学校の空っぽの図書室のために本を集めようと知り合い全員に声をかけたときに始まりました。

最初の1冊を届けた当時から、ルーム・トゥ・リードは大きく成長しました。現在、世界中で何千もの人々が、貧困地域の識字教育や女子教育をサポートするため資金調達イベントを開いたり参加したりしています。これは、背景の異なる熱意ある人々による、まさにグローバルな活動です。ルーム・トゥ・リードはこうした取り組みを通じて数百万人もの子ども達の人生を変えています。

ルーム・トゥ・リードは2020年までに1500万人の子ども達に支援を届けることを目指しています。私からの願いは、今すぐ私達と共に教育のために行動を起こすことです。次世代の子ども達は学びたいと思っています。そして、私達のサポートを必要としています。

これは、初めてマラソンに参加する、ギターを習う、新しい料理を覚えるなど、人生でやりたいことのリストにある項目を1つ達成しつつ、その目標を成し遂げる応援として他の人にも寄付をしてもらうというチャンスです。夢は大きく。クリエイティブに。#ActiveforEducation（教育のために行動して）、世界を変えましょう！

— ジョン・ウッド、ルーム・トゥ・リード創設者

私は妻のエイミーと、ヤクパック・チームとスイスのアルプス山脈でのユングフラウ・マラソン参加をはじめ、いろいろな方法で行動を起こして教育のための資金集めを行ってきました。

42KM標高差1800M、8人のチームメイトと素晴らしい1日 — すべては子ども達の教育のため！



アイディアのヒント 他の人達の取り組みを見てみましょう。



東京で、とても若いサポーターの少年は

小学1年生のときから教育のために行動してきました。新しい縄跳びの技を覚える、詩を読む会を開く、ジャグリングを独学で習得するなどの課題を自分に課して、ルーム・トゥ・リードのために資金集めをしてきました。

2015年、オーストラリアのシドニー・チャプターは

クーリンガイ・チェイス国立公園で18kmコースまたは30kmコースを歩くという春の山歩きを企画して、ルーム・トゥ・リードのプログラムのために資金集めを行いました。この山歩きは毎年恒例のイベントとなり、2017年には300人近い参加者を見込んでおり、識字教育と女子教育のために25万オーストラリアドルの寄付を集めることを目指しています。

香港の実業界では14人のビジネスリーダーが

「最速エグゼクティブ」13kmトレイルレースに参加して、ルーム・トゥ・リードのミッションを支援しました。レース参加者は同僚や友人から個人的な寄付を募り、ルーム・トゥ・リードが支援する子ども達のために45万USドル以上の資金を集めました。

金融機関のBNPパリバは、女子教育を支援する教育資金調達キャンペーンを2ヵ月間行いました。

ルーム・トゥ・リードの現地スタッフによるメール報告やアジア太平洋地区のオフィス訪問によって、BNPパリバの13カ国の従業員がルーム・トゥ・リードの事業について学び、インドの少女達のために15万USドルの寄付を集めました。

自分にとって意味のあることに取り組み、その取り組みを広く伝え、あなた自身が楽しみながら、世界を変えていきましょう。

詳しい情報と行動を起こすには、www.roomtoread.org/GetActiveをご覧ください。

つながる： グローバルな取り組み

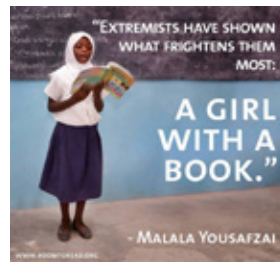
ルーム・トゥ・リードの事業にはグローバルコミュニティが欠かせません。識字教育や女子教育に対する皆様の熱意や貢献こそ、ルーム・トゥ・リードの取り組みの原動力です。ルーム・トゥ・リードのミッションに皆様に関わりを持つということは、物のギフトをはるかに超えるパワーを生み出しています。オンラインディスカッションへの参加や事業の最新情報の共有、現地での活動への参加、プログラム実施先の訪問など、2016年は皆様といろいろなつながりを築くことができ感謝しています。

いいね! : オンラインディスカッションを推進する

2016年に最も人気があったSNS投稿



ライター兼活動家
グロリア・スタイナム
昨年ザンビアで行われた
女子教育プログラムの
ライフスキル・ワーク
ショップに参加



f /RoomtoRead | @RoomtoRead | @RoomtoRead | /RoomtoRead

話題を作る: メディアの1面を飾る

一躍テレビ番組のダンススターとなったイギリスの政治家エド・ボールズが

ルーム・トゥ・リードのロンドンのイベントでダンスの個人レッスンを寄付したことが話題を呼び、子ども達の教育支援への関心が高まりました。エド・ボールズのダンスレッスンで7万ポンドの寄付が集まりました。これは、ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムで年間2000人の子ども達を支援するのに十分な額です。

ネパール大地震から1年経ち、ルーム・トゥ・リードは女子教育プログラムに参加している少女の1人であるプージャを追ひ、プージャや他の人々が震災後の暮らしや地域社会をどのように立て直しているのかをたどりました。

毎日放課後になると、9歳のマスカーンはインド、ボパール（注：原文誤り、ボパールはインドの都市名）の自宅の外に無料図書室を設置して

他の子ども達が本を読めるようになります。その活動に心を打たれたルーム・トゥ・リードは、マスカーンが友達に本を読んであげられるように現地語で書かれた本を50冊マスカーンに贈りました。

目的ある旅 : プログラム実施先の訪問

ルーム・トゥ・リードの事業について理解を深める最善の方法の1つは、現地で実際にその活動の様子を見ることです。昨年、ルーム・トゥ・リードは、サポーターや投資家がプログラムの実施先である地域社会とつながりを築けるように現地訪問を100件以上実施しました。2016年にそうした提携先コミュニティを訪問した数百人のサポーターの中に、コートニー・アモスとポール・アモスがありました。自分達の子ども3人と友人2人を連れて、カンボジアの識字教育プログラムの実施校を1日参観し、自らが支援している事業が与える影響について学びました。

「私達全員にとって旅のハイライトは学校の訪問でした。これまでにいろいろな団体に贈ってきた寄付の中で、あのカンボジアの学校での喜びや満足感が最も大きいものだったとポールとも話しました。プログラムとこうも深くつながりを感じられるのは、言葉にはできないほど素晴らしいことです。」

-コートニー・アモス

現地訪問の計画を立てるには、www.roomtoread.org/SeeOurWorkをご覧ください。

感動を呼ぶ行動 : ルーム・トゥ・リード・チャプター

ルーム・トゥ・リードの各チャプターやアンバサダーは、感動を呼ぶクリエイティブなイベントを企画し続け、プログラムへの関心を高め、重要な資金調達に取り組んでいます。ルーム・トゥ・リードの各チャプターがより多くの人々の参加を促すために2016年に行った各種イベントの中からいくつかをご紹介します。

- ・バイク・フォー・ブックス スピニングクラスとマラソン
- ・企業トリビア・クイズ・ナイト
- ・旅先での食事 国別ディナーシリーズ
- ・識字教育のためのステイ 図書室お泊り会
- ・識字教育のための音符 コンサート
- ・学校に乾杯 ワインテイスティング
- ・春の山歩き トレッキングに挑戦
- ・公園ヨガ 屋外ヨガイベント



ルーム・トゥ・リードには43のボランティアチャプターがあります。—詳しい情報と参加については、www.roomtoread.org/Take-Actionをご覧ください。

ルーム・トゥ・リード掲載メディア



成果をもたらすパートナーシップ： 資金援助団体

資金援助団体は助成金や従業員の関与などの取り組みを通じて、それぞれの大規模なネットワークで
ルーム・トゥ・リードの支援の輪を広げ私達のミッションの推進に多大な貢献をいただいています。企業や
財団、政府パートナーからの寄付金や物資による支援は、**2016年**にルーム・トゥ・リードが受けた支援全体の**40%以上**を占めています。



Artha Capital
アルタ・キャピタルは、ルーム・トゥ・リードのミッションの重要プロジェクトの開発と強化を可能にしています。アルタ・キャピタルは、主要事業に470万ドルを投資し、2020年までに1500万人の子ども達を支援し活動地域を拡大し続けるというルーム・トゥ・リードの目標の達成に貢献してくださいました。



アトラシアン財団は、ルーム・トゥ・リードのプログラムにこれまで約700万ドルを寄付してくださいました。2016年、アトラシアンはルーム・トゥ・リードがカンボジアで実施している女子教育プログラムの最大の投資家であり、オーストラリア法人の中で最大の資金を提供いただいています。また、アトラシアンのスタッフは1日1ドル職場寄付プログラムを通じて個人レベルでもルーム・トゥ・リードをサポートしてくださっています。



ビル & メリンダ・ゲイツ財団は現在、インドの女子教育プログラム、特に少女達のライフスキル育成の成果に関する2年間の評価プロジェクトに共同出資していただいています。評価の結果は、女子教育プログラムのグローバルデザインと影響力の効果向上に利用されます。



バーガーキングは、ヨーロッパや中東、アフリカ、アジアの一部地域の従業員やフランチャイズ、お客様からの寄付、そしてバーガーキング・マクラモア財団からの直接の寄付を通じて、カンボジア、インド、ネパール、スリランカ、南アフリカ、タンザニア、ザンビアで8万4000人以上の子ども達が識字教育プログラムに参加できるよう支援していただいています。



センター・フォー・マイクロ・ファイナンスは、部族語を話す周辺地域に対する最善の支援方法に関する研究をはじめ、インドのラジャスタン州でルーム・トゥ・リードが行う識字教育プログラムを支援していただいています。4年半で100万ドルに上る寄付をご提供いただきました。



シティは、イニシアチブ・eフォー・エデュケーションを通じて、3か月にわたって電子プラットフォームによる法人取引額100万ドルにつき1ドルを寄付いただきました。2016年のルーム・トゥ・リードに対する寄付額は57万ドル超で、2013年以降、同社のルーム・トゥ・リードへの支援総額は222万ドル以上となっています。



クレディ・スイスは、2008年以降ルーム・トゥ・リードと提携し、ルーム・トゥ・リードの2015～2019年戦略プラン策定やルーム・トゥ・リード・アクセラレータの立ち上げなどの主要プログラムや重要な戦略プロジェクトを支援していただいています。クレディ・スイスは、香港、シドニー、東京でルーム・トゥ・リードのスタッフにオフィススペースを無償提供していただいております、同社のグローバル・シチズン・プログラムを通じて複数国のチームに能力開発支援をご提供いただいています。



2016年、**エキドナ・ギビング**は、ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムと女子教育プログラム、2015～2019年戦略プラン目標に投資していただきました。エキドナ・ギビングは、革新や分析、学習、システムの転換においてルーム・トゥ・リードの模範となる思考パートナーです。



ゴールドマン・サックスとゴールドマン・サックス・ギブズプログラムを通じて、同社とその上級経営幹部からルーム・トゥ・リードに1900万ドル以上を寄付していただきました。2016年にゴールドマン・サックスが行ったルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムと女子教育プログラムへの支援の結果、4万4000人以上の子ども達が恩恵を受けました。



ハッピー・ハーツ・ファンは、2004年のインド洋大津波を経験したペトラ・ネムコバが2006年に設立し、自然災害の被害にあった地域に安全で耐久性のある学校の再建に取り組んでいます。ハッピー・ハーツ・ファンは、2015年にネパールで甚大な被害をもたらした大地震の後の同国での学校再建にあたってルーム・トゥ・リードを支援してくださっています。



2016年、ルーム・トゥ・リードは、**イケア財団**、そして、子ども達の遊びと成長の権利をサポートするイケアの「LET'S PLAY すべての子どもに遊ぶ自由を」キャンペーンと4年間のパートナーシップを結びました。このパートナーシップには、バングラデシュとインドネシアでルーム・トゥ・リードのプログラムに参加する9万3000人の子どもの達を支援していただいています。



IMCは、アメリカ、オランダ、オーストラリアの事業所所在地でトレーニング・フォー・チャリティのイベントを開催し、タンザニアで基本的な読みのスキルを学ぶ子ども達を支援するルーム・トゥ・リードのプログラムに180万ドル以上を寄付していただきました。



タッチャは、2014年以来ルーム・トゥ・リードの主要パートナーです。タッチャのビューティフル・フェイス、ビューティフル・フューチャーイニシアチブを通じて、フルサイズのスキンケア製品1つの購入につき、女子教育プログラムの少女1人の学校生活1日を支援していただいています。2016年末までに、タッチャには少女の100万日分の学校生活を支援していただきました。



タウンゼント・プレスは小学生から大学生向けの教材の出版に定評がある独立系出版社です。2007年からルーム・トゥ・リードとパートナーシップを結んでいます。タウンゼント・プレスには、現地語書籍の出版や図書室の新設、女子教育プログラムなど主要な活動とプログラムを支援していただいています。



UBS オプティマス財団は、ネパールのヌワコット郡にある6つの学校の再建とルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムの支援を通じて、私達のネパール大地震復興に協力いただいています。この支援はUBSオプティマス・エマージェンシー・レスポンス基金から拠出されており、災害後の重要な介入として子ども達の教育も対象に含まれています。



米国国際開発庁 (USAID)は、インドで大規模に実施される低学年読書プログラムの援助に約540万ドルを投資しました。これによって公立小学校に通う約25万人の子ども達に直接の支援がもたらされ、また5年間にわたって4州における数百万人の子どもの達にも間接的な支援が提供されます。

主要な企業・団体スポンサー (1/1/2016 – 12/31/2016)

50万米ドル以上のご寄付

アトラシアン財団
シティ
クレディ・スイス
エキドナ・ギビング
ゴールドマン・サックス
イケア財団
IMC
カブニック財団
サンキュー・ダッド財団
UBSオプティマス財団
米国国際開発庁

250,000 ~ 499,999米ドル

アルタ・キャピタル
ビル & メリンダ・ゲイツ財団
バーガーキング・マクラモア財団
カイロス財団
センター・フォー・マイクロ・ファイナンス
ハッピー・ハーツ・ファン
タッチャ
タウンゼント・プレス

100,000 ~ 249,999米ドル

アディティア・ビルラ・グループ
BNPパリバ
ボーイング
パイロン・ガールズ・ファン・オブ・ゴールドマン・サックス・ギブス
キャロル・オブレススキー・チャリタブル・ファン
クリニック
クラブ・ビーチ財団
ディーナ・ジョー・ハイド・デスリン財団
ダイニング・コンセプト社
エロール財団
フォッシル財団
フォー・エーカー・トラスト
ゲヴカル・エンドーメント社

グラクソスミスクライン
グルーバー・ファミリー財団
ヒルトン
HSBC
インマート財団
ジェーン・ハート・トラスト
ケンデダ・ファン
クーグル財団
ミリアド・アセット・マネジメント社
オープン・サークル財団 (オランダ)
オラクル
ピアソン
セールスフォース
サッター財団
シグモア・ファミリー財団
センサト・インベスターズ
トロバー・ウォジェスキ財団
米国農務省 (カトリック救援事業会へのアワード)
ユナイテッド・ウェイ・ワールドワイド (ターゲットの寄付を代表して)

50,000 ~ 99,999米ドル

アビームコンサルティング株式会社
アジア・オルタナティブ
バンク・オブ・アメリカ - BAコンティニューム・インディア社
バッテリー・パワード
クラウド・ナイン財団
CMSリーガル・サービスEEIG
ドッジ・アンド・コックス
ドクター・アウスビュッテル社
イーストマン・ケミカル
エクイスエナジー (日本再生エネルギー株式会社)
フィナンシャル・タイムズ
ホグランド財団
ジョアン・アンド・アーウィン・ジェイコブス・ファン

カレン・レイ・ファン
旧軽井沢ホテル
ローリー・アンド・ピーター・グローア財団
マシュース・アジア
メイヤー・フィリップス財団
マイクロソフト
モンサント・ファン
モリス・アンド・ヘレン・ベルキン財団
ノーブル・グループ
ヌイックス
ポジティブ・リアル・エステート
リライアブル・ソース・インダストリアル
レンショウ財団
SJSチャリタブル・トラスト
スポラー財団
スパーリノ財団
スティーブ・ファミリー財団
STUDY FOR TWO
スワロフスキー財団
サンダーバード2財団
東京海上日動火災保険株式会社
ホワイトハイブ・コール

物資・サービス寄贈団体

オートデスク
ブック・エンタープライズ
ブック・フォー・アフリカ
キャンノ
シスコ・システムズ
クレディ・スイス
ゴロシオ・パブリッシャーズ
ヒルトン
ケッチャム
レノボ
モエ・ヘネシー
リライアンス・キャピタル
スコラスティック

合計： 財務

財務における効率性と透明性、説明責任は、ルーム・トゥ・リードの基本理念です。ルーム・トゥ・リードの事業は、皆様の世界的ネットワークの寛大な支援があって初めて実現可能となります。ルーム・トゥ・リードは皆様の支援で最大限の効果が得られるように努力し、皆様の資金の具体的な用途をご報告します。

財務ハイライト



4440万
米ドル

現金による支援



380万米ドル

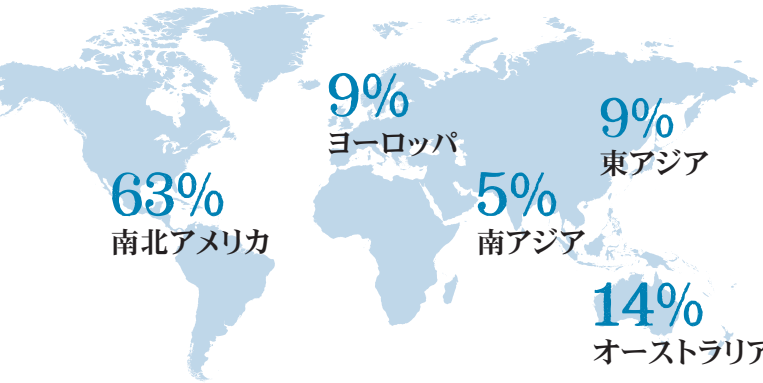
物資・サービスによる寄付



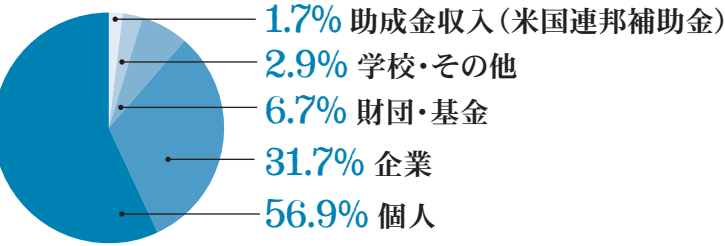
84%

プログラムに利用された割合

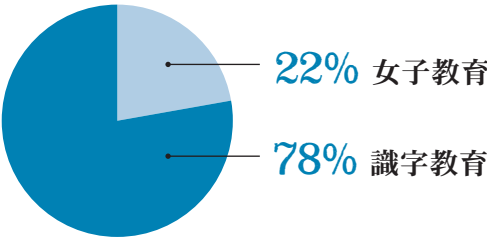
地域別収益源



投資者タイプ別寄付



プログラム別出資内訳



活動報告書

2015年および2016年12月31日まで (米ドル)

支援および収益:	2016	2015
企業	\$14,094,706	\$12,536,347
財団・基金	\$2,980,884	\$4,172,714
個人	\$25,278,834	\$27,360,176
学校・その他	\$1,298,113	\$490,534
寄付合計	\$43,652,537	\$44,559,771
助成金収入	\$774,828	\$708,398
物資・サービスによる寄付	\$3,820,516	\$4,234,999
投資およびその他の収益 (損失)、特別なイベント出費、諸費用	\$(163,711)	\$(609,980)
支援および収益合計	\$48,084,170	\$48,893,188

運営諸費:	2016	2015
プログラム運営		
識字教育	\$9,264,996	\$8,862,628
女子教育	\$2,127,412	\$2,581,086
図書・物資寄贈	\$3,341,016	\$2,671,175
会議費・旅費・打ち合わせ費	\$2,350,724	\$2,170,957
IT技術費	\$1,294,947	\$1,177,976
モニタリング・評価	\$172,212	\$94,869
専門家報酬	\$2,682,356	\$3,024,024
プログラム経費	\$2,869,583	\$2,499,585
プログラム人件費	\$19,311,222	\$17,391,874
プログラム運営費合計	\$43,414,468	\$40,474,174
運営・管理費	\$2,424,055	\$2,375,379
資金調達活動	\$5,891,111	\$5,486,462
運営経費合計	\$51,729,634	\$48,336,015

非拘束純資産の変動	\$(646,246)	\$1,561,771
一時拘束純資産の変動	\$(2,857,298)	\$(1,451,374)
期首非拘束純資産	\$6,450,056	\$4,088,941
期首一時拘束純資産	\$14,632,415	\$16,883,133
期末純資産	\$17,578,927	\$21,082,471

ルーム・トゥ・リードの財務報告書は独立公認会計士による監査を受けており、ホームページからも入手いただけます。

リーダーシップ 理事会および職員

理事会役員

スコット・キャブニック (理事長): HPS
インベストメント・パートナーズ CEO

ユスフ・アリレザ: ノーブルグループ
元CEO

アンドリュー・ポールズ: PIMCO
グローバル債券担当最高投資責任者

メアリー・バイロン: ゴールドマン・サッ
クス 元パートナー

ルイ・クラウチ博士: インターナシヨナ
ル・デベロップメント・グループRTI、副
社長兼最高技術責任者

エリン・ガンジュ: ルーム・トゥ・リード
共同創設者 兼CEO

カール・ハッテンロッツチャー: ミリアド・
アセット・マネジメント、経営パートナー
兼最高投資責任者

エリザベス・M・キング博士: ブルッ
キングス・インスティテューション 学外
シニア・フェロー

ジェリー・デル・ミッシャー: コッパース
トリート・キャピタル 経営執行役会長

キム・アンスタット・モートン: ガール・ラ
イジング 諮問委員

ジョン・リディング: フィナンシャル・タイ
ムズ・グループ CEO

フランク・ヴァン・ヴィーネンダール:
セールスフォース 元取締役副社長

スーザン・ウォジスキ: YouTube 元CEO

ジョン・ウッド: ルーム・トゥ・リード創設者

名誉理事

ヒラリー・バレンタイン (理事長):
ブラック & ホワイト・デザイン 共同経
営者

クリス・ピア: アイアンマーク・ロー・
グループ 創設メンバー

クレイグ・ブルヤ: マイクロソフト・ビジ
ネス・ソリューションズ 元CFO

ピーター・T・グラウアー: ブルーム
バーグ 会長

ティム・クーグル: Yahoo! 元会長兼
CEO

アラスデア・マクタガート: エメラルド・
ファンド 社長

フェルナンド・レイマーズ: ハーバード
大学グローバル教育および国際教育
政策ディレクター

ムニール・サッター: サッター・インベ
ストメント・マネジメント 会長

リージョナル・ボード

アジア太平洋

ダミエン & レベッカ・ブロスナン

ベン & アサミ・ファーガソン

ニール・ハーヴェイ

**ディーター・トゥロウスキ & ローラ・
ハワード**

**ユスフ・アリレザ & ディナ・クレイノ・
アリレザ**

ジョン & カミラ・リンドフォース

**カール・ハッテンロッツチャー &
タミコ・M・リビット**

ゾルタン & タマラ・ヴァーガ

オーストラリア

スティーブ & キャリー・ペロッティ

**エディー・シーハイ & キャロライン・
ベッツ**

マイク & アニー・キャノン・ブルックス

チャールズ & マイル・カーネギー

ブレット & ザウラ・ゴッドフレー

チャールズ & アリソン・ゴーマン

アンドリュー & エマ・グレイ

ジョン & ニコル・キース

シンシア・ウェラン

デビット・トリプル & ドナ・イップ

ニューヨーク

メアリー・バイロン

ピーター・T・グラウアー

ソニー・カルシ

スコット・カブニック

ケイリン・レベンタル

スイス

ユルゲン・パウアー

パトリシア・ホーガン

エイディン & サラ・カート=エリ

フランシス・マースランド

デビッド・モート

ロバート & ローラ・シュモール

ティナ・ウスデマン

英国

マリサ・ドリュー

ダグ・ヘンダーソン

エリオ & マリア・レオニ=セティ

ジェリー & ジェーン・デル・ミッシャー

パトリック & ベネディクト・ド・ノネビル

ジョン・リディング

スチュアート & ジョアンナ・ライリー

**アンドリュー・ポールズ & エリカ・
ワックス**

ランディ・ワーク

リーダーシップ・チーム

マネジメント・チーム

エリン・ガンジュ: 共同創設者 兼CEO

シャリー・フリードマン: 最高財務責
任者

コリー・ヘイマン: 最高イノベーション
責任者 兼 ルーム・トゥ・リード・アクセ
ラレータ事務局長

ギータ・ムラリ: 最高開発責任者兼コ
ミュニケーション責任者

ダニエル・ライヒナー: 最高国際運営
責任者代理

ヘザー・シンプソン: 最高プログラム
責任者

ピエール・タウンズ: 最高人材活用
責任者

インターナショナル・ディレクター

スーラヴ・バナジー: インド カントリー
ディレクター

シェヴァンティ・ジャヤスリヤ: スリランカ
ントリー ディレクター

ピーター・ムワカワレ: タンザニア カン
トリーディレクター

ジェフリー・オダガ: アフリカ アソシエ
イトディレクター

ウジャワル・ラジ・ポクレル: ネパール
カントリーディレクター

ピーター・ラマツワナ: 南アフリカ カン
トリーディレクター

ラクヒ・シャーカー: バングラデシュ
カントリーディレクター

クリスティ・スコット: アジアディレク
ター、ベトナム カントリーディレクター
代理

ディネシュ・シュレスタ: 共同創設者 兼
フィールドオペレーションディレクター

ノーカム・スーパノヴァング: ラオス
カントリーディレクター

ベン・スラン: カンボジア カントリー
ディレクター代理

技術諮問委員会

ジェームス・アーネット: カブコ パー
トナー

アレックス・ペロウス: シスコ財団、教育
ポートフォリオマネージャー

メアリー・バイロン: ゴールドマン・サッ
クス 元パートナー

ダスティン・フレイジャー: コンサル
タント

マシュー・グローツバック: クイズレット
CEO

アンドレア・レシェック: セールス
フォース、テクノロジー・アンド・
プロダクト・サービス副部長

アンバリッシュ・マルパニー: エドモド、
技術副部長

ビブフ・ミッタル: エドモド CEO

ブレット・ロブソン: アトラシアン、
IT技術管理者

フランク・ヴァン・ヴェンダール: セー
ルスフォース 元取締役副社長

ティム・ウッド: ビル & メリンダ・ゲイ
ツ財団、シニア・プログラム・マネー
ジャー

ルーム・トゥ・リードのレガシーソサエティ (遺贈寄付者会)



**ベティ・ジェイミー・
チャン**
1943 ~ 2013年

ベティ・ジェイミー・チャン
からルーム・トゥ・リードへ
の遺贈寄付は、教育の力
と教育がもたらす変化を
信じていた自らの母親に
学んだ、思いやりとたくま
しさを備えたベティの人
となりを表すものです。

中国重慶市でベティ・ジェイ
ミーが生まれたのは、第二次世

界大戦中にこの省都が戦火にさらされていたころでした。
その後チャン一家は香港に移り住み、ベティ・ジェイミーは
学校教育の大半を香港で受けました。

ベティ・ジェイミー・チャンは、成長する過程で大きな影響を
受けた母親から教えられた基本的な人としての価値や道
義をまとめて「Life Recipes from My Mother (母から受け
継いだ人生のレシピ)」というタイトルの本を書きました。

レガシーソサエティは、相続される財産をルーム・トゥ・リー
ドに遺贈される方々のために設立されました。レガシーソ
サエティの一員として、次世代の子ども達が必要な教育資
源やサポートを提供し、子ども達と家族がよりよい人生を
歩む一助となることができます。遺産の譲渡その他の方法
での遺贈寄付をお考えの際には、ルーム・トゥ・リードを是
非ご検討ください。

詳しくは、legacy@roomtoread.orgまでお問い合わせ
ください。



子どもの教育が世界を変える®

ルーム・トゥ・リードは、識字教育と教育における男女の平等に取り組むことを通じて、低所得国の何百万人もの子ども達の人生に変化を起こしたいと願っています。現地の地域社会やパートナー企業・団体や政府と協働しながら、小学生の識字スキルと読書の習慣を育み、また、少女達が学校と卒業後に成功するためのライフスキルを身に付けて中等教育を修了できるよう支援しています。

ルーム・トゥ・リード・グローバル・オフィス：サンフランシスコ
デリー、香港、ロンドン、ムンバイ、ニューヨーク、シンガポール、シドニー、東京、チューリッヒ

www.roomtoread.org

japan.roomtoread.org (日本語)

2016年にオフィススペースを提供して下さった下記の企業に感謝いたします：クレディ・スイス（香港、シドニー、東京）、フィナンシャル・タイムズ（ロンドン）、リライアンス・キャピタル（ムンバイ）



写真：表紙：ラクスメイ・ライ；1、2：キムロン・メン；3、16：ダニエル・ヘイダック；4：アミアサラジ・ステープン；
4、9：ニューエン・ミン・ダク；5：ジェイソン・ムリキタ；6、8、9、12、16、21、23：ルーム・トゥ・リード；7：ファルケ・アザ
ム；10：ウィレム・デ・ラング；11：サイカット・モジュダー；13、裏表紙：サンガム・シルパカ；14：アヌパム・グプタ；
15：ミッチェル・トン；17：グレナダスクール；19：キモニクス；20：プロビシ・エデュケーション；22：スコット・トリート

デザイン：メラニー・ドハティー・デザイン